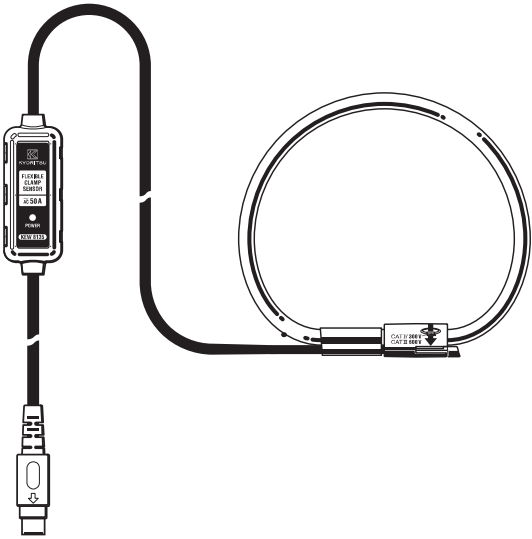


取扱説明書



フレキシブルクランプセンサ

パワークランプセンサ シリーズ

KEW 8135

共立電気計器株式会社

保証書

KEW 8135	製造番号
保証 期間	ご購入日(年 月 日)より1年間
お 名 前	
ご 住 所	
T E L	

◎本保証書に製造番号、ご購入日、およびお名前、ご連絡先をご記入の上、大切に保管してください。
◎本保証書の再発行はいたしません。
◎本保証書は日本国内でのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

保証規定
保証期間内に生じた故障は無償で修理いたします。
但し、下記事項に該当する場合は対象から除外させていただきます。
1. 取扱説明書と異なる不適切な取扱い、または使用方法が原因で発生した故障。
2. お買い上げ後の持ち運びや輸送の間に、落下させるなど異常な衝撃が加わって生じた故障。
3. 弊社サービス担当者以外による改造、修理が原因で生じた故障。
4. 火災、地震、水害、公害及びその他の天変地異が原因で生じた故障。
5. 傷など外観上の変化。
6. その他弊社の責任と見なされない故障。
7. 電池など消耗品の交換、補充。
8. 保証書のご提出がない場合。

共立電気計器株式会社
本 社 〒152-0031 東京都目黒区中根 2-5-20
東京オフィス ☎03(3723)7021 FAX. 03(3723)0139

1.使用上の注意(安全に関する注意)

本製品は IEC 61010-1 電子測定装置に関する安全規格に準拠して、設計・製造の上、検査合格した最良の状態にて出荷されています。この取扱説明書には、使用される方の危険を避けるための事項および本製品を損傷させずに長期間良好な状態で使用していただくための事柄が書かれていますので、お使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

△警告

- 本製品を使用する前に、必ずこの取扱説明書をよく読んで理解してください。
- この取扱説明書は、お手元に大切に保管し、必要なときにいつでも取り出せるようにしてください。
- 製品本来の使用方法および取扱説明書で指定した使用方法を守ってください。
- 本書の安全に関する指示に対しては、指示内容を理解の上、必ず守ってください。

以上の指示を必ず厳守してください。指示に従わないと、怪我や事故のおそれがあります。危険および警告、注意事項に反した使用により生じた事故や損傷については、弊社としては責任と保証を負いかねます。

○本製品に表示の△マークは、安全に使用するため取扱説明書を読む必要性を表わしています。なお、この△マークには次の 3 種類がありますので、それぞれの内容に注意してお読みください。

- △危険:この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険性が高い内容を示しています。
- △警告:この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- △注意:この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

△危険

- 本製品は、測定カテゴリⅣ(CATⅣ)の環境下において 300V 以上、測定カテゴリⅢ(CATⅢ)以下の環境下において 600V 以上電位のある回路では、絶対に使用しないでください。
- 指定した操作方法および条件以外で使用した場合、本体の保護機能が正常に動作せず本製品を破損したり感電等の重大な事故を引き起こす可能性があります。本製品を使用する前に必ず既知の電源で正常に測定できることを確認してください。

△警告

- 本製品を使用しているうちに、回路ボックスおよびクランプセンサ部に亀裂が生じたり金属部分が露出したときは、ただちに使用を中止してください。
- 本製品の分解、改造、代用部品の取り付けは行わないでください。修理・調整が必要な場合は、弊社または販売店宛にお送りください。

6.測定方法

△危険

- 感電の危険を避けるため CAT Ⅳにおいて 300V 以上、CAT Ⅲ以下において 600V 以上電位のある回路では、絶対に使用しないでください。

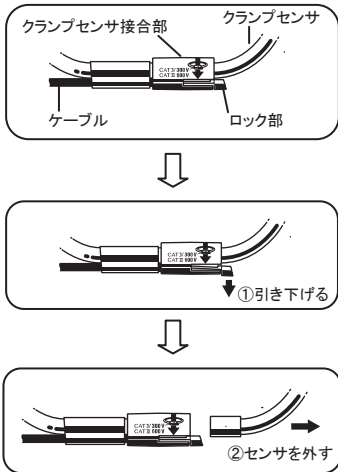
△注意

- 被測定可能導体径は最大φ75mm です。大きい導体をクランプし、クランプセンサが完全に閉じていない状態では正確な測定ができません。
- 出力端子を測定器本体から抜く場合、断線防止のため差込部分(ケーブル以外)を持って抜いてください。

注記

- 本製品は電力計「KEW 6305」、電源品質アナライザ「KEW 6315/6315 WHM」、また電流、電圧ロガー「KEW 5010/5020」専用です。KEW 5050 等、他の弊社製品に接続した場合には、本製品は使用できません。

- 6-1 測定方法
- (1) 出力端子を測定器本体の入力端子に接続してください。
 - (2) 測定器本体の電源を入れてください。
 - (3) クランプセンサ接合部を下図のようにはずしてください。



- 本製品や手が濡れている状態では、絶対に使用しないでください。感電事故の原因になります。
- 本製品を操作するときは、労働安全衛生規制に定められているように電気用ゴム手袋等の絶縁用保護具を着用してください。

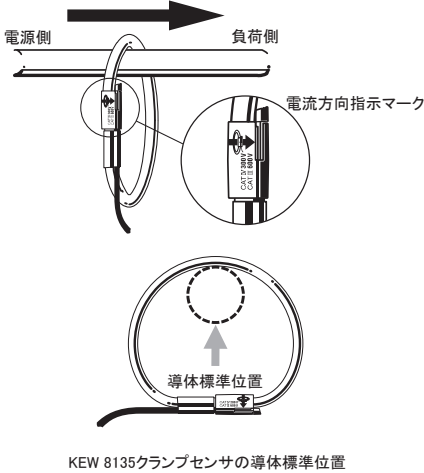
△注意

- ケーブルの被覆を損傷させないよう、踏みだり挟んだりしないでください。
- 高温多湿、結露するような場所および直射日光の当たる場所に本製品を保存や使用はしないでください。変形、絶縁劣化を起こし、仕様を満足しくなくなります。
- 本製品の運搬、取り扱いに際しては、振動や落下等の衝撃を避け、本製品が損傷しないよう注意してください。
- クリーニングには、研磨剤や有機溶剤を使用しないで中性洗剤か水に浸した布を使用してください。
- 本製品は防じん、防水構造になっていません。ほこりの多い環境や水のかかる環境下で使用しないでください。故障の原因になります。
- 本製品の接合部に異物等を挟んだり、衝撃を加えないでください。接合部の突合せ面が損傷し、測定に悪影響を及ぼします。
- 断線による故障を防ぐために、ケーブルの付け根を折ったり引っ張ったりしないでください。
- 測定範囲を超える電流を長時間入力しないでください。本製品を破損する恐れがあります。
- 接続機器の電源が入った状態または測定導体をクランプした状態で、コネクタの抜き差しをしないでください。接続機器およびクランプセンサの故障の原因になります。
- トランスや大電流路など強磁界の発生している近く、また無線機など強磁界の発生している近くでは、正確な測定ができない場合があります。

安全記号	人体および機器を保護するため、取扱説明書を参照する必要がある場合に付いています。
	二重絶縁または強化絶縁で保護されている機器を示します。
	感電、電気的やけど又はアーク閃光させ得る絶縁されていない危険な活電導体の周りに装着しない、又はそれから脱着しない。
	交流(AC)を示します。
	本製品は、WEEE 指令 (2002/96/EC) マーキング要求に準拠します。この電気電子製品を一般家庭廃棄物として廃棄してはならないことを示します。

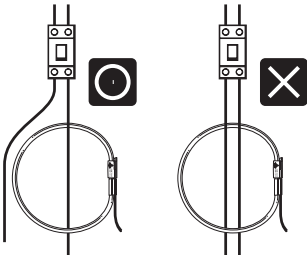
○測定カテゴリについて
安全規格IEC61010では測定器の使用場所についての安全レベルを測定カテゴリという言葉で規定し、以下のように 0～CAT Ⅳの分類をしています。この数値が大きいほど過渡的なインパルスが大きい電気環境であることを意味します。CAT Ⅲで設計された測定器はCAT Ⅱで設計されたものより高いインパルスに耐えることができます。

- (4) 被測定導体1本をクランプしてください。その場合、クランプセンサと被測定導体は下図の位置で測定してください。また、測定電流と出力電圧の位相を同位相にするため、クランプセンサ接合部にある電流方向表示マークの矢印(電源側→負荷側)を確認してください。

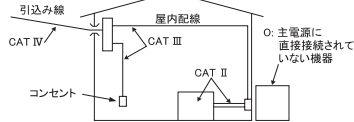


- (5) クランプセンサ接合部が確実に閉じていることを確認してください。

- クランプセンサ接合部に過度の力が加わると外れる場合があります。
- 導体は必ず一本だけクランプしてください。単相(2本)、三相(3本)を同時にクランプした場合は測定できません。



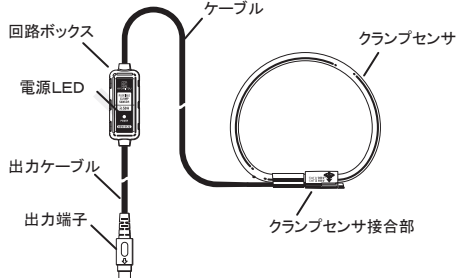
- 0(None, Other) : 主電源に直接接続しないその他の回路
CAT Ⅱ : コンセントに接続する電源コード付機器の1次側の電気回路
CAT Ⅲ : 直接配電盤から電気を取り込む機器の1次側および分岐部からコンセントまでの回路
CAT Ⅳ : 引込み線から電力量計および1次過電流保護装置(配電盤)までの回路



2.特 長

- 本製品は、AC50Aまで測定可能なクランプセンサです。
- クランプセンサ部に空芯コイルを使用しているため、柔軟かつ軽量です。

3.各部の名称



4.出力端子のピン配置

